

講演 2010.11.13(土) 在日本韓国YMCA青少年センター

祝島をといまく 自然と伝統文化

神舞・練塀、そして危機に瀕する生物多様性の海を未来へ

◎ 生物多様性の宝庫、瀬戸内海の原風景(仮)

加藤真さん 京都大学大学院教授
(人間・環境学研究科)

◎ 祝島の伝統文化、「神舞」と「練塀」

橋部好明さん 郷土史研究家
(祝島在住)

スナメリ Some rights reserved by "KUUKO"

日 時

2010年11月13日(土)

13:30~16:30 / 13:00 開場

会 場

在日本韓国YMCA

アジア青少年センター 9階 国際ホール

東京都千代田区猿楽町2-5-5 (Tel 03-3233-0611)

交 通

JR水道橋駅徒歩6分 / 御茶ノ水駅徒歩9分 / 神保町駅徒歩7分

参 加 費

一般 500 円

大竹財団会員 / PARC会員 / 学生 無料

定 員

100名 / 定員を超える場合は予約を優先。ホームページの予約フォーム(大竹財団のみ)またはお電話、FAX、メールにてご予約ください

主 催

財団法人大竹財団

共 催

アジア太平洋資料センター(PARC)

神 舞



カンムリウミスズメ



祝島



練 塀

① お問い合わせ・お申し込み

Tel 03-5209-3455 <http://www.parc-jp.org> office@parc-jp.org アジア太平洋資料センター(PARC)

Tel 03-3272-3900 <http://www.ohdake-foundation.org> office@ohdake-foundation.org 財団法人 大竹財団

瀬

戸内海有数の漁場・周防灘と伊予灘の境界に位置する山口県熊毛郡上関町にある祝島。周辺の自然環境は世界遺産に値するほど、注目される生物多様性のホットスポットです。

しかし、対岸・上関町田ノ浦には上関原子力発電所の建設予定地があり、埋め立て工事などによる環境変化で希少種や危急種の存続が危ぶまれています。

また、祝島には神舞、練塀といった特徴的な伝統文化が残されており、気が遠くなるほど長い年月をかけて守られてきた自然と伝統を子孫に伝えようと、過疎高齢化のなかで住民が力を合わせています。

原発そのものからは少し視点をかえ、わたしたちが次世代に何を伝え、残すべきかを考えてみたいと思います。



講演 2010.11.13(土) 在日本韓国YMCA青少年センター

祝島をとりまく 自然と伝統文化

神舞・練塀、そして危機に瀕する生物多様性の海を未来へ

JR水道橋駅徒歩6分／御茶ノ水駅徒歩9分／神保町駅徒歩7分

FAX



FAXでお申し込みの場合は本用紙をご利用のうえお申し込みください

Fax 03-5209-3453 アジア太平洋資料センター(PARC)

Fax 03-3278-1380 財団 大竹財団

お名前	電話番号
ご連絡先 (〒 -)	
<input type="checkbox"/> 一般 (¥500) <input type="checkbox"/> 学生 (¥0) <input type="checkbox"/> 大竹財団会員 (¥0) <input type="checkbox"/> PARC会員 (¥0)	該当する項目にチェックしてください